



WAR ROBERT CAPA

戦争
ロバート・キャパ

主催 | クレヴィス 共催 | 東京都写真美術館 公益財団法人東京都歴史文化財団 協賛 | アイワード 協力 | 東京富士美術館
開館時間 | 10時-18時(木・金曜日は20時まで) ※入館は閉館の30分前まで 休館日 | 毎週月曜日(ただし5月5日(月・祝)は開館。5月7日(水)は休館)

3.15²⁰²⁵sat. - 5.11sun.

TOP MUSEUM

会場 | 恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館
地下1階展示室



崩れ落ちる共和国側の兵士
エスベホ近郊、コルドバ前線、スペイン
1936年

- 展
示
構
成
- 1 ジャーナリストを目指す
 - 2 スペイン内戦
 - 3 日中戦争
 - 4 第二次世界大戦
戦時下のイギリス／北アフリカ
イタリア上陸／ノルマンディー上陸
パリ解放／ドイツ降伏
 - 5 イスラエル建国
 - 6 終焉の地 インドシナ半島

ロバート・キャパ



©Ruth Orkin 1951

1913-1954

1913年ハンガリーのブダペスト生まれ。本名アンドレ・フリードマン。報道写真家として1930年代から死去までの20年余に世界各地の戦場を駆け巡り、臨場感あふれる作品を数多く残した。とくにスペイン内戦での《崩れ落ちる兵士》や、ノルマンディー上陸作戦に同行し撮影した《Dデー》は報道写真の歴史に残る傑作。1947年にカルティエ・ブレッソンらと「マグナム・フォト」を結成した。1954年インドシナ戦争で地雷に触れ、40年の生涯を閉じる。

観覧料	一般 1,200円	学生・65歳以上 1,000円	高校生 800円
-----	--------------	--------------------	-------------

*中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)は無料。

トークイベント

登壇者

宮嶋茂樹
報道写真家

イラク、北朝鮮、アフガニスタン、ウクライナなど世界各地で精力的に取材を敢行し続けている。第4回日藝賞受賞、日本大学客員教授。

4.26 sat.

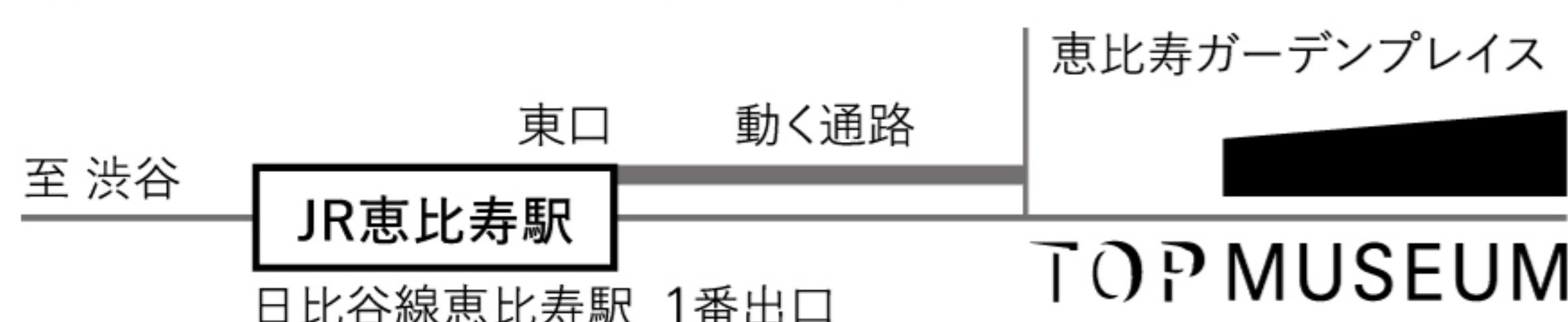
14時～(約90分)

参加無料 定員190名
1階ホールにて

*ただし本展チケット(当日有効のもの)の提示必須。*当日10時より1階総合受付にて整理券を配布します。番号順入場。自由席。

東京都写真美術館 TEL 03-3280-0099
www.topmuseum.jp

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
アクセス▶JR恵比寿駅 東口より徒歩約7分/東京メトロ日比谷線
恵比寿駅より徒歩約10分 ※当館には駐車場はございません。
近隣の有料駐車場をご利用ください。



事業は諸般の事情により変更することがございます。
最新情報は東京都写真美術館ホームページでご確認ください。

その時、

戦後80年、今あらためてキャパの写真を見直すことの意義

20世紀が生んだ偉大な写真家のひとり、ロバート・キャパ。「カメラの詩人」と言われ、またすぐれた「時代の証言者」でもあった。その写真の背景には苦闘するヒューマンズの眼があり、やさしさ、ユーモアがあった。キャパは人間を取り捲く状況を少しでもよいものにしようという強い信念と情熱をもって状況に身を投じたが、それだけでなく写真のもつ衝撃力を見分ける確かな眼を持ち合わせていた。

1930年代ヨーロッパの政治的混乱、スペイン内戦、日中戦争、第二次世界大戦で連合軍の対ドイツ反攻作戦の始まる北アフリカから、イタリア戦線、ノルマンディー上陸作戦などの戦闘現場に立会い、命がけの取材写真は眼に見える確かな記録として報道された。それらの多くは時空を越えて、後世の人びとにも訴えかける強いメッセージとなっている。

本展は東京富士美術館が所蔵する約1000点のキャパのコレクション

キャパの手は

から、「戦争」に焦点を当てた作品約140点を厳選して展示する。昨今のロシアとウクライナ、パレスチナやレバノンとイスラエル等の地域における紛争、シリアのアサド政権崩壊による影響など、世界の現状は、残念ながらキャパの願った思いとはほど遠いもの。それ故に戦後80年の今、あらためてキャパの写真証言を見直すことの意義がある。



キャパが地雷を踏んで死去する直前に撮影した一枚
仏領インドシナ(現ベトナム)、1954年

オモテ | 「Dデー作戦」でオマハ・ビーチに上陸する米軍、ノルマンディー、フランス
1944年

作品所蔵 | 東京富士美術館

震えていた。



- a | 学生に向かいロシア革命について講演する
レオン・トロツキー デンマーク、1932年
- b | シャール・アリア移民一時収容所の子ども イスラエル、1950年
- c | パリ解放を祝う人びと フランス、1944年
- d | マラガ市からの避難民 スペイン、1937年

